

ほうかつだより

安城市地域包括支援センターひがしばた 第30号
住所:安城市東端町鴻ノ巣 72-2 電話:(0566)73-8210

令和6年度明祥地区地域ケア地区会議を開催しました

12月12日に明祥プラザ体育館で「認知症をわがこととして考える」をテーマに56名の地域の方々(町内福祉委員、民生委員)専門職(医師、歯科医師、薬剤師、福祉関係者)に集まっていただき話し合いを行いました。

自分が、家族が、地域の方が認知症になったときにどのように過ごしていきたいか、周囲はどの様なことができるかそれぞれの立場から様々な意見が出ました。

深津敦司先生(深津医院)からは

『本人、家族は周囲に迷惑をかけたくないと思ってしまうのですが、周囲がわかってくれれば楽になるので家に閉じ込めなくても良いです。助け合い、声掛けをしてください。』とのご意見を頂きました。



参加いただいた方からの声

『本人よりもまわりの人の認知症への理解とサポート体制が重要。』『認知症の人とその家族にとって住みやすい環境になるとよいですね。』『地域の方の生の声が聴けて勉強になりました。誰かのちょっとした助けがあれば認知症になっても生活ができる。』

などたくさんの意見をいただきました。

グループワークでは認知症への理解が大切であるという意見が多数出ました。

認知症の方や家族の方の相談・憩いの場としてめいしょうカフェを毎月第3火曜日に明祥プラザで開催しています。

認知症サポーター養成講座も毎年開催しています。皆様の御参加をお待ちしております。



低温やけどに注意！

やけどには熱いものや火に触れたときにおこるやけど(高温やけど)と低い温度のものが長時間皮膚にあたっていることで起こるやけど(低温やけど)があります。寒くなり湯たんぽやあんか、使い捨てカイロ、電気カーペットなどを使用することが増え、低温やけどを起こすことがあります。低温やけどでは表面は赤くなっているだけと以为っていても皮膚の深いところまでやけどをしていることがあります。麻痺のある方や病気で感覚の鈍くなっている方はやけどに気づきにくくひどくなる恐れがあります。やけどになった場合は早めに**医療機関へ受診**してください。



低温やけどを防ぐために

- 説明書の使用方法を守ってください。
- 湯たんぽやあんかは周りを厚手のタオルやひざ掛けなどでおくるみ体から離して使用するか、眠る前に布団を温めて眠るときには布団から出して使用しましょう。
- 使い捨てカイロは肌^に直接当てず眠るときには外しましょう。カイロケースを使用するのも良いでしょう。
- 電気カーペットや暖房便座を長時間使用するときは設定温度を低くしましょう。タイマーも利用してください。



ご報告

11月30日の明祥プラザまつりで**認知症高齢者搜索訓練**を行いました。

お子様から高齢者まで43名の方に参加いただきました。

皆様、パンフレットに記入されたように高齢者役の職員を驚かせないように前から静かに近づき穏やかな口調で話しかけてくださいました。

アンケートでは「どのように声掛けをしたら良いか迷った」「ドキドキした」「QRコードのことを初めて知りました」等の声が聴かれました。

ご協力ありがとうございました。



11月19日のめいしょうカフェの様子です。

2月のめいしょうカフェ

2月18日 火曜日

13:30~ 明祥プラザ